



戦争をさせない

Anti-War Committee of 1000

1000人委員会

1000人委員会ニュース

NO.51

(2016年10月24日)

〒101-0063 東京都千代田区

神田淡路町 1-15 塚崎ビル三階

TEL03-3526-2920

FAX03-3526-2921

安倍政権の暴走止めよう！

自衛隊は戦場に行くな！

10・19 国會議員会館前集会に 6000人が参加



安保関連法＝戦争法が強行採決された昨年の9月19日から1年1か月目の10月19日、国會議員会館前で、安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は戦場へ行くな！国會議員会館前集会が開催され、6000人が参加しました。

**南スーダンは内戦状態だ！
自衛隊は南スーダンから即時撤退を！**

集会は、憲法共同センターの山本淑子さんの司会で進行。戦争をさせない1000人委員会の山本圭介さんのコールで始まり、政党を代表して民進党の近藤昭一衆議院議員、社民党の福島瑞穂参議院議員、会派沖縄の風の糸数慶子参議院議員、共産党の穀田恵二衆議院議員が挨拶。それぞれ、南スーダンへの自衛隊の派兵に反対するとともに、新潟県知事選での勝利を踏まえ、安倍政権打倒へ、ともにたたかう決意を述べました。

次に、主催3団体の代表が発言。まず戦争をさせない1000人委員会の内田雅敏事務局長が挨拶し、「私たちの安倍政権とのたたかいは、アジアの民衆との共闘であり、あの戦争で不合・無念の死を強いられた、日本とアジアの戦争犠牲者との共闘であり、私たちの子どもや孫、まだ生まれていない子どもたちの未来との共闘だ。この三つの共闘を貫徹しよう」と呼びかけました。

また、9条を壊すな！実行委員会の高田健さんは「東京10区と福岡6区の衆院補選は厳しい情勢だ。しかし、新潟県知事選挙でも厳しい中、努力の結果勝ち取ることができた。厳しいからといって、決してあきらめるわけにはいかない。安倍政権の暴走とのたたかいを全国津々浦々でやり抜き、安倍政権を追い詰めよう」と訴えました。

憲法共同センターの船尾遼さんは「立憲主義を無視し民意をないがしろにし、国民の命を顧みない安倍政権は一刻も早く退陣してもらおう！野党と市民とが共闘すれば不可能なことはない。戦争法を撤回させ、平和な日本であると世界に誇れるその日までともにたたかいましょう」【裏へ】



と呼びかけました。

次に、各運動団体から連帯の挨拶を受けました。

雇用共同アクションの岩崎貞明さんは、電通の過労自殺事件を取り上げながら、企業側の無責任な雇用管理の中で低賃金長時間労働が蔓延しているのが日本企業の実態だ。安倍政権が計画している労働法制の改悪阻止のためともにたたかおう」と呼びかけました。

TTP阻止国民会議の元農林水産大臣の山田正彦さんは「阿部政権はTPPを強行採決すると明言している。絶対に成立させてはならない。沖縄の高江も戦争法もTPPも根っ子は同じだ。ともにたたかいましょう」と訴えました。

一坪反戦地主会関東ブロックの木村辰彦さんは、沖縄の高江の無法違法な機動隊の横暴に触れながら、「沖縄と本土が手を結び、辺野古基地建設を止め、高江のヘリパット建設工事を止め、安倍政権の暴走を止めるたたかいを共にやり抜こう」と訴えました。

日本国際ボランティアセンターの谷山博史さんは、南スーダンの現地の情勢について触れ「現地では簡単に人が殺されている。明らかに紛争状態だ。武力で国際貢献するのではなく、中立的な立場で人道支援・国作り支援に徹すべきだ。」と提起しました。

最後に、9条を壊すな！実行委員会の筑紫建彦さんが今後の行動提起を行いました。

① 防衛庁要請行動・南スーダンへの自衛隊派兵に反対する要請

【日程は未定】

② 閣議決定抗議行動。

駆けつけ警護等の閣議決定日

朝7時45分から行う。【日程は未定】

③ 国会傍聴行動・憲法調査会への傍聴

【日程は未定】

④ 10月30日(日)

自衛隊派兵反対の青森現地行動

⑤ 11月19日(土) 国会前行動 14:00から

⑥ 12月10日(土) 13:30から

沖縄連帯集会とデモ・日比谷野音

以上の日程行動などを提起し、沖縄の基地建設反対統一署名の成功を呼びかけました。そして、ささやかれている来年一月の解散総選挙をみすえ、あらゆる行動に全力を傾けることを訴えま
「ナ



「安倍政治を終わらそう！10・19院内集会」を開催 前田哲男さん（軍事評論家）が講演 南スーダンPKOからの撤退を！ 共催：立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会

10月19日、衆院第2議員会館で、安倍政治を終わらせよう！院内集会が開催され、約100名が参加しました。

集会は、立憲フォーラム代表の近藤昭一衆議院議員の司会ではじまり、最初に、立憲フォーム幹事長の辻元清美衆議院議員が国会報告を行いました。「今国会では、T



PP、南スーダンへの派遣、憲法調査会問題などで紛糾している。年末年始に解散総選挙があるといわれている。自民党が自民党の憲法改正草案を引っ込んだのは、総選挙で、憲法改正問題を争点にしたくないからだともいえる。もし総選挙をやるなら、参院選で3分の2をやられたから、今度は返り討ちにして今の衆院の自公の3分の2を切り崩すチャンスにすればいい。その決意でやつていきたい」と報告しました。

そして、前田哲男さん（軍事評論家）が「南スーダンの駆けつけ警護—PKOはどこまで変質するか？」と題して講演しました。【講演要旨別途参照】

最後に、戦争をさせない1000人委員会の福山真劫さんが当面の行動提起を行いました。「総がかり行動実行委員会は、戦争法廃止と憲法擁護の課題を軸にやってきたが、今後は沖縄の基地建設反対と格差貧困課題も取り組むこととした。10・30青森現地闘争をやりぬき、特に沖縄の基地反対署名活動の成功と12・10沖縄連帯集会（日



比谷野音）を全国統一行動とし取り組む。そして、年末年始に行われるかもしれない総選挙においては、野党共闘の力で自公政権に変わる政治を実現したい」と提起しました。

前田哲男さんの講演要旨

安倍政権は今月24日にも南スーダンPKOの派遣継続を閣議決定し、駆けつけ警護・宿営地共同警護の新任務付与については、11月以降に閣議決定する予定だ。しかし、現地の情勢は混こん、流動的でPKO参加5原則が成り立たない事態だ。現地で支援活動を行ってきたNGOの報告によれば、政府軍には給与が払われていないことから、政府軍が略奪行為をくりかえしており、ヘリコプターや戦車、爆弾利用の武行使が行わ【裏へ】



れている。自衛隊が駆けつけ警護をやるとしたら、政府軍との戦闘になるだろうと指摘している。安倍総理や稻田防衛大臣は現地での武力衝突を戦闘行為ではなく単なる衝突だと言い切っているが、これは、戦闘行為と認めると、PKO参加5原則が崩れることになり現地から撤退せざるを得なくなるからだ。政権としては、この南スーダンの例を武器使用基準を変えるためのテストケースにして、さらに武器使用基準を拡大していくつもりなので、引くに引けないのだ。これまでのPKOは施設隊・工兵、エンジニア中心の部隊だったが、今回は普通科連隊・歩兵の部隊だ。南スーダンでの武器使用が本丸ではなく、日米が協力する中での武器使用基準のレベルアップが本丸なのだ。いずれにしろ、PKO参加5原則の一つである紛争当事者間の停戦合意が成立していない以上、現地からの撤退を求めていくことが大切だ。



大きい会場が確保できず、人数制限付きの予約制になりましたが、約100名の参加となりました。【衆院第2議員会館】

辺野古新基地反対・高江オスプレイパッド反対 沖縄の基地建設反対統一署名を 成功させよう！

内閣総理大臣 安倍晋三 様
衆議院議長 大島理森 様
議院議長 伊達忠一 様

沖縄県民の民意尊重と、基地の押し付け撤回を求める 全国統一署名

日本全土のわずか0.6%にすぎない沖縄に、在日米専用施設の74%が集中していることは周知の事実です。

その結果、沖縄が日本に復帰した1972年以降も、米軍人等による犯罪は後を絶たず、復帰後44年間だけでも5910件にのぼり、うち凶悪犯罪は575件を占めています。2016年4月にも、ウォーキング中の20歳の女性が元海兵隊員に殺害されました。加えて、戦闘機など米軍機による耐え難い爆音被害の実態は、司法も認めています。10万人余の県民大会が配備撤回を求めたオスプレイの訓練による被害は、自治体の調査でも激しさを増しており、「運用協定」などは米軍優先で空文にすぎなくなっています。

沖縄県民は幾度も、県民大会や国政選挙、自治体選挙で、また県議会や市町村議会で、米軍基地の県内移設に反対する意思を示してきました。2013年1月には、県議会議長と全議員、市町村関係4団体の長、全41市町村長と市町村議会議長の連名による、オスプレイの配備撤回と普天間飛行場の閉鎖・撤去、県内移設の断念を求める「建白書」を携え、安倍首相に直訴しました。

にもかかわらず政府は、新基地建設に反対する非暴力の抗議行動に対して、沖縄県外から数百人の機動隊を投入して弾圧・排除しつづけています。これは人権と民主主義の理不尽な否定にはかなりません。

また、辺野古新基地とオスプレイ・パッドの建設が、ジュゴンやサンゴなど貴重な海洋生物の生命を奪い、ヤンバルの森のかけがえのない生態系を破壊することは明らかで、国際的にも批判されています。

このようなことから、私たちは次の事項の実現を求めます。

【 請 願 事 項 】

- 一、名護市辺野古への新基地建設をやめること。
- 二、全国各地へのオスプレイの配備に反対し、とりわけ東村、国頭村にまたがる北部訓練場でのオスプレイ・パッドの建設工事を直ちにやめること。
- 三、危険な普天間飛行場はただちに閉鎖し、すみやかな返還を実現すること。
- 四、沖縄駐留の米海兵隊を撤退させること。
- 五、不平等な日米地位協定を抜本的に改定すること。

名 前	住 所

署名用紙の送り先：〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル3F 総がかり行動実行委員会 第一次集約/2017年1月10日

呼びかけ団体

基地の県内移設に反対する県民会議

☎ 098-833-3218 (沖縄平和運動センター)

「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

☎ 090-3910-4140 (一坪反戦地主会関東ブロック) ☎ 03-6382-6537 (沖縄意見広告運動) ☎ 03-3363-7561 (ピースボート)

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

☎ 03-3526-2920 (1000人委員会) ☎ 03-3221-4668 (9条壊すな！実行委員会) ☎ 03-5842-5611 (憲法共同センター)

取り扱い団体

違憲訴訟を支える会に入会を！

「安保法制違憲訴訟を支える会」では会員を募集しています。歴史的画期的な集団提訴を支え、応援し、全国のたたかいを前進させましょう。会費は年間 3000 円で裁判費用や裁判に関するニュース発行などに使用します。入会をぜひお願ひします。

入会方法

安保法制違憲訴訟を支える会

会費：年会費として1口 3000 円（何口でも可）
を払い込んで下さい。

振込先【ゆうちょ銀行からのお振込み】

- ・ゆうちょダイレクトの場合
(※インターネットバンキング)
口座記号・番号：00140-514288
- ・ATMの場合 口座記号・番号：001405-514288
- ・窓口の場合

口座記号・番号：00140-5-514288

口座名義：安保法制違憲訴訟を支える会

【その他の金融機関からのお振込み】

銀行名：ゆうちょ銀行

店番：〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）

預金種目：当座 口座番号：0514288

口座名義：安保法制違憲訴訟を支える会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

連合会館内 平和フォーラム気付

tel.03-5289-8222 fax.03-5289-8223

E-mail soshou.sasaeru@gmail.com



◆◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆◆

■10月30日（日）13:30から15:30

◇自衛隊を南スーダンに送るな！！ いのちを守れ！！青森集会

- ・場所：青森駅前公園
- ・主催：戦争法廃止を求める青森県民ネットワーク
総がかり行動実行委員会

■南スーダンPKOへの新任務付与の閣議決定日

◇緊急抗議行動

- ・時間：朝 7 時 45 分からを予定（未確定）
閣議決定時期は 11 月頃と思われます
- ・場所：首相官邸前

■11月19日（土）14:00～

◇総がかり国会前行動 詳細未定

- ・場所：議員会館前
- ・主催：総がかり行動実行委員会

■12月10日（土）

◇沖縄連帯集会（仮称）13:30～ 集会後デモ

- ・場所：日比谷野外音楽堂
- ・主催：総がかり行動実行委員会